

施策評価シート

施策等名称	安全・安心の確保	体系番号	0601010201
		主管課	都市計画課

1 施策基本情報

現状と課題	現在保有する公共施設等の保有量を保有し続けるためには、公共施設だけでも現在の投資的経費の約2倍、インフラ施設についても現在の約3倍の費用が必要となります。 一方で、人口減少による生産年齢人口の減少に伴い、市税収入が減少し、現在の投資的経費の維持も困難になることが想定されます。 保有しているすべての公共施設等を保有し続けることは、難しい状況にあります。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	公共施設等の不具合箇所を早期に発見し、早期に対応することで、施設の安全・安心を確保します。道路や上下水道などのインフラ施設は、行政だけでなく関係機関等からの情報提供により、支障箇所等の早期発見に努めます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	定期点検周知回数	施設の日常的な定期点検に関する職員への周知回数(回/年)	1.00	1.00 1.00
②				
③				

施策の体系	名称	安全・安心の確保		主管課	都市計画課		
	詳細	公共施設等の不具合箇所を早期に発見し、早期に対応することで、施設の安全・安心を確保します。道路や上下水道などのインフラ施設は、行政だけでなく関係機関等からの情報提供により、支障箇所等の早期発見に努めます。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	定期点検周知回数	施設の日常的な定期点検に関する職員への周知回数(回/年)	1.00 1.00	1 公共施設等総合管理計画推進事業	実施	
	2				2		
	3				3		
					4		
					5		
					6		
	基本政策間連携						
	名称			主管課			
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1				1		
	2				2		
3				3			
				4			
				5			
				6			
基本政策間連携							
名称			主管課				
詳細							
まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
1				1			
2				2			
3				3			
				4			
				5			
				6			
基本政策間連携							

施策等名称	安全・安心の確保	体系番号	0601010201
		主管課	都市計画課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
1	定期点検周知回数	1.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
変動要因等	2018年度	各公共施設を所管する担当者を対象とした研修会を開催し周知した。						
	2019年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
	2020年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
	2021年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
	2022年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
	2023年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
柱1		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
1	定期点検周知回数	1.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
変動要因等	2018年度	各公共施設を所管する担当者を対象とした研修会を開催し周知した。						
	2019年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
	2020年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
	2021年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
	2022年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						
	2023年度	各公共施設を所管する担当者を対象に、庁内グループウェアを活用して周知した。						

施策等名称	安全・安心の確保				体系番号	0601010201	
					主管課	都市計画課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目	2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)		2018年~2023年(総括)		
	投資額	事業費(円)	2,787,591	1,441,003	0.52	551,191	0.38	1,292,946	2.35	1,463,100	1.13	2,008,600	1.37
うち一財(円)		2,787,591	1,441,003	0.52	551,191	0.38	1,292,946	2.35	1,463,100	1.13	2,008,600	1.37	
(2018年~2023年(総括)については2023年の実績を記載)	増減理由(一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)	2018年度に、保温材の石綿定性分析調査を行い、調査が一段落したことが要因である。		公共施設再編計画の策定や進行管理のために予定していた外部アドバイザー業務の縮小による。		庁内からの建築修繕工事設計(委託料)の依頼による増加		庁内からの建築修繕工事設計(委託料)の依頼による増加		公共施設の老朽化等により、庁内からの建築修繕工事設計の依頼が増加。今後も、依頼件数の増加が見込まれる。			
進捗評価	おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		
総合評価	主な取組内容や成果	各公共施設を所管する担当者を対象とした研修会を開催し、点検のポイントなど周知を図った。その後、担当者が点検を実施した。結果は管理課で集約し、必要に応じて、補修工事等の実施を促した。		各公共施設を所管する担当者を対象に、グループウェアを活用して、点検のポイントなど周知し、点検を実施した。工事の際に設置された足場を利用し、工事箇所以外の場所の点検を行った。		各公共施設を所管する担当者を対象に、グループウェアを活用して、点検のポイントなど周知し、点検を実施した。工事の際に設置された足場を利用し、工事箇所以外の場所の点検を行った。		公共施設を所管する担当者を対象に、日常的な定期点検実施の説明会を開催した。また、茅野市公共施設保全指針を策定し、日常点検等から得られる施設の劣化状況等の情報の一元化を図り、優先度設定を行い、優先度設定を確実に実施し、安全で安心して利用できる施設維持に努める。		(R4評価)所管課を対象に、日常的な定期点検実施の説明会を開催した。公共施設保全指針に沿って優先度設定を行い、計画的な施設の保全を実施し、安全で安心して利用できる状態を維持するとともに、長寿命化やライフサイクルコストの削減を図る。(総括評価)保全指針に基づいて順調に取り組んでいる。		(R5評価)所管課を対象に、日常的な定期点検実施の説明会を開催した。公共施設保全指針に沿って優先度設定を行い、計画的な施設の保全を実施し、安全で安心して利用できる状態を維持するとともに、長寿命化やライフサイクルコストの削減を図る。(総括評価)保全指針に基づいて順調に取り組んでいる。	
	課題	各公共施設を所管する担当者による点検では見落とされやすい不具合があることから、専門的な知識を持った人による点検の実施も必要と考える。屋根や外壁など、高所の不具合の把握が困難な施設がある。		足場等を設置しなければ、目視が困難な屋根や外壁の状態について、ドローンによる確認ができればと考えている。施設を継続的に使用するため、また工事費の標準化を図るため、設備機器の状態を一元管理する必要がある。		各公共施設を所管する担当者による点検結果だけでは、把握しきれない施設や設備の劣化状況を把握する必要がある。		公共施設を所管する担当者による点検結果だけでは、把握しきれない施設や設備の劣化状況を把握する必要がある。また、公共施設再編計画で、多くの施設が今後の方針は「検討」となっており、長寿命化等計画的な改修を行えず、その間に劣化等が進み、安全で安心して利用できなくなる恐れがある。		(R4・総括評価共通)公共施設は、安全で安心して利用できる状態を維持する必要があるが、古くなった施設をこれまでどおり維持管理するには、これまで以上の費用が必要となる。今までの維持管理を続けると、結果として公共施設の荒廃や事故に繋がり住民の安全や安心が脅かされる。		(R5・総括評価共通)公共施設は、安全で安心して利用できる状態を維持する必要があるが、古くなった施設をこれまでどおり維持管理するには、これまで以上の費用が必要となる。今までの維持管理を続けると、結果として公共施設の荒廃や事故に繋がり住民の安全や安心が脅かされる。	
改革・改善	改革・改善内容	専門的な知識を持った人による点検の実施について、建築系職員の体制づくりや特殊建築物の点検を総合的に活用し不具合を把握していくことを検討する。		ドローンを活用した屋根や外壁の点検の可否を確認します。設備機器の調査を進める。		各公共施設を所管する担当者による点検結果に加え、建築基準法などの法定点検の結果、設備機器の情報を一元的に管理し、安全・安心の確保を目指す。		公共施設を所管する担当者による点検結果に加え、建築基準法などの法定点検の結果、設備機器の情報を一元的に管理し、安全・安心の確保を目指す。また、公共施設再編計画の施設の今後の方針については、容易に方針は決まらなと思うので、各施設で行う日常点検を重視したい。		所管課による点検結果に加え、建築基準法などの法定点検の結果、設備機器の情報を一元的に管理する。また、茅野市公共施設保全指針に沿って優先度設定を行い、計画的な施設の保全を実施し施設維持に努め、安全で安心して利用できる状態を維持する。		所管課による点検結果に加え、建築基準法などの法定点検の結果、設備機器の情報を一元的に管理する。また、茅野市公共施設保全指針に沿って優先度設定を行い、計画的な施設の保全を実施し施設維持に努め、安全で安心して利用できる状態を維持する。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱重点事務事業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
理由	施設の老朽化に伴い、外壁のモルタル片の落下や屋根材の剥落、腐食の進んだ手摺の破損などにより、安全性に問題がある施設も全国的にみられることから、定期的に点検を行い安全を確保する必要がある。		施設の老朽化に伴い、外壁のモルタル片の落下や屋根材の剥落、腐食の進んだ手摺の破損などにより、安全性に問題がある施設も全国的にみられることから、定期的に点検を行い安全を確保する必要がある。		施設の老朽化に伴い、外壁のモルタル片の落下や屋根材の剥落、腐食の進んだ手摺の破損などにより、安全性に問題がある施設も全国的にみられることから、定期的に点検を行い安全を確保する必要がある。		施設の老朽化に伴い、外壁のモルタル片の落下や屋根材の剥落、腐食の進んだ手摺の破損などにより、安全性に問題がある施設も全国的にみられることから、定期的に点検を行い安全を確保する必要がある。		施設の老朽化に伴い、外壁のモルタル片の落下や屋根材の剥落、腐食の進んだ手摺の破損などにより、安全性に問題がある施設も全国的にみられることから、定期的に点検を行い安全を確保する必要がある。		多くの施設で老朽化対策が急務であるが、なかなか進まない。推奨される周期で改修が行えないため、当面は安全性や機能面の確保を優先し、効率的かつ効果的な修繕を実施していく。引続き、限られた財政の中で優先順位を決めて、早期に対策を行っていく。		
作成担当者	東城 真平		東城 真平		東城 真平		飯島 正彦		飯島 正彦		飯島 正彦		
最終評価責任者	伊藤 弘通		伊藤 弘通		橋原 尚一		岩崎 研二		岩崎 研二		黒澤 俊彦		
最終評価年月日	2019年5月31日		2020年7月10日		2021年6月16日		2022年5月30日		2023年10月19日		2024年7月12日		